

《日帰り研修旅行報告》

「富岡製糸場と絹産業遺産群」 〜世界遺産の価値を学ぶ旅〜

今夏の暑さの勢いは十月になってもなお衰えず（一八九八年の統計開始以降、最も平均気温が高い十月だったそうだが、当日まで不安が尽きなかったが、蓋を開けた旅行日十月十五日（火）は、青空と清々しい空気に包まれ、心も晴れ晴れした中で一日が始まった。

今回の目的地は群馬県富岡市。「富岡製糸場と絹産業遺産群」として二〇一四年に世界遺産に登録された施設の中心地で、今回は「群馬県立世界遺産センター」と「富岡製糸場の見学、併せて隣接する甘楽町にある「こんにゃくパーク」を巡る行程とした。参加者は二十名。ここ数年で最も多くの会員が集まったこともあり『また会えてよかった』と、一層心が弾むバス道中となった。



〈群馬県立世界遺産センター〉

順調に高速道路を進み、最初の目的地「群馬県立世界遺産センター（セカイト）」に到着した。当センターは、世界遺産の総合ガイダンス展示施設、且つ大学や民間と連携し、世界遺産のみならず絹産業・絹に関する文化財の研究に取り組む施設として二〇二〇年にオープンした。設立コンセプトが「世界遺産の価値を分かりやすく伝えていくこと」であることから、富岡製糸場を巡る前にぜひ訪れたい見学地として選んだ施設である。館内はモダンな造りで一階は世界遺産の全体像を伝えるフロア、二階は更に詳しく学べる四遺産（富岡製糸場・田島弥平旧宅・高山社跡・荒船風穴）の展示や「まゆだまテンプル」という体験デジタル展示設備などのフロアになっている。私たちはまずシアタールームにて最新技術を使った十五分の映像を視聴した。文字通り分かりやすい遺産全体像の紹介に『なるほど、そうだったのか』と納得の内容であった。その後は各々自由に見学し、詳細についてじっくり学ぶことができた。中でも製糸場建設に大きな功績を残した埼玉の偉人「渋沢

栄一」に関する展示では、

氏の偉業はもとより群馬・埼玉の深い関係性に深く感じ入った。また、生きたカイコに触れ、その柔らかさ・美しさを実感すると共に、これら自然の小さな命が近代日本の発展を支えてきたことに思いが及んだ。なるほど、昔から「お蚕様」と敬われてきたわけである。



セカイトの見学は、各々新たな発見が得られる貴重な時間となった。

〈割烹「かわら屋」での風食〉

セカイトを後に、『自分のペースで健康づくり』で市街地を徒歩で散策してから、割烹「かわら屋」で風食をとった。ここの屋号は、その昔、製糸場建設のため瓦職人として埼玉より富岡に移り、代々製糸場屋根瓦修繕に携わった先祖の歴史を敬い名付けたそうだ。こゝでも埼玉との縁を感じながら、郷土料理「こしね汁」や名物「黄金鮎（甘露煮）」などを酒の肴に、楽しい風御膳の時間となった。

〈富岡製糸場〉

再び歩いて、次の目的地「富岡製糸場」に到着した。世界遺産登録から十年が経ち、入場者数の低迷や老朽化修復工事など、様々な課題を抱える現状があるそうだが、明治初期操業当時のまま、ほぼ完全に残されている長さ百メートルを超える壮大な建物の迫力は圧倒的であった。特に今回、事前に「セカイト」で学んできた分、より深く歴史の重みや価値を感じる見学となった。

〈こんにゃくパーク〉

再びバスに乗り、最後の目的地「こんにゃくパーク」に立ち寄った。ここも二〇一四年にオープンした企業ミュージアムで、工場見学や手作り体験、こんにゃく料理のバイキング等々、家族連れにも人気のスポットとして、この日も沢山の人が賑わっていた。日程の都合、こんにゃく料理バイキングと買い物のみを楽しんでバスに戻ったが、ヘルシーな食材「こんにゃく」の多彩な魅力に触れる時間となった。



〈岩槻への帰路〉

充実した一日の締めくくりに、今回初めて参加してくださった方々からマイク越しにいただいた感想の一部を紹介し、成果のまとめとしたい。

◎「外に出る機会がないので楽しみにしていたし、勉強にもなった。皆さんのお人柄で和ませていただいた。新人なのにこんなにのんびりさせてもらっていいのかと思うくらい楽しませていただいた。」

◎「昨年までを思うと、平日に休みをとることは考えられなかったので、夢のような時間が過ごせた。来年以降も皆さんと一緒に楽しいひと時を過ごしたい。」

◎「今年から退職校長会にお世話になっていくが、いろいろなところで入会を躊躇する話を聞く中『岩槻班は会長さん始め、皆』『二』温かく迎えてくれているよ。』と話している。今日も温かく迎え入れてくださり、いろいろな話もできて楽しい時間を過ごせた。とても濃い一日になった。」(皆さんそれぞれお礼の言葉で締めくくってくださった。)

令和6年度 いわつき山吹会 (岩槻班退職校長会)

日帰り研修旅行のしおり

ともに楽しいひと時を過ごしましょう!

- 実施日 令和6年10月15日(火)
- 目的地 群馬県富岡市方面・群馬県立世界遺産センター「セカイト」
・富岡製糸場
・こんにゃくパーク
(昼食：かわら屋)
- 参加費用 13,000円
- 乗車地の出発時刻 東岩槻駅南口(8:00) 市民会館いわつき(8:15)
岩槻駅前りそな銀行(8:25) ほてい家(8:30)
- バス会社 つばさ観光 048-766-5000 (蓮田市井沼)
- コース概要 岩槻 IC(8:45) = (東北道・関越道) = 高坂 SA(9:20) = 富岡 IC = 群馬県立世界遺産センター(10:30~11:05) = 富岡市街中散策・昼食：かわら屋(11:20~12:30) = 富岡製糸場(12:40~13:30) = こんにゃくパーク(14:00~14:40)
※「こんにゃくバイキング」の試食あり = 富岡 IC = (関越道・東北道) = 蓮田 SA(16:10) = 岩槻 IC(16:20) = ほてい家(16:30頃)

【旧交を温めて】 また会えてよかった!

【新たな発見を期待して】 なるほど、そうだったのか!

【見て歩いて語らって】 自分のペースで健康づくり!

◆後記◆

今年度も四人(中山時次・新井のみ・遅塚恵美子・吉田哲久)で準備を進めました。今年は特に旅行需要の復活に加え、新たに改正施行された「貸切バス事業に関する制度」の影響を受け、例年以上に日程(バス確保)や目的地選定に難航しましたが、お陰様で『ともに楽しいひと時を過ごせた』と思っています。この場をお借りしてご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。なお、今回足を伸ばせなかった遺産群には、ぜひ個人で訪れていただければ幸いです。

(担当幹事 吉田 哲久)